



姉妹都市

SCAI

ニュース

協会報

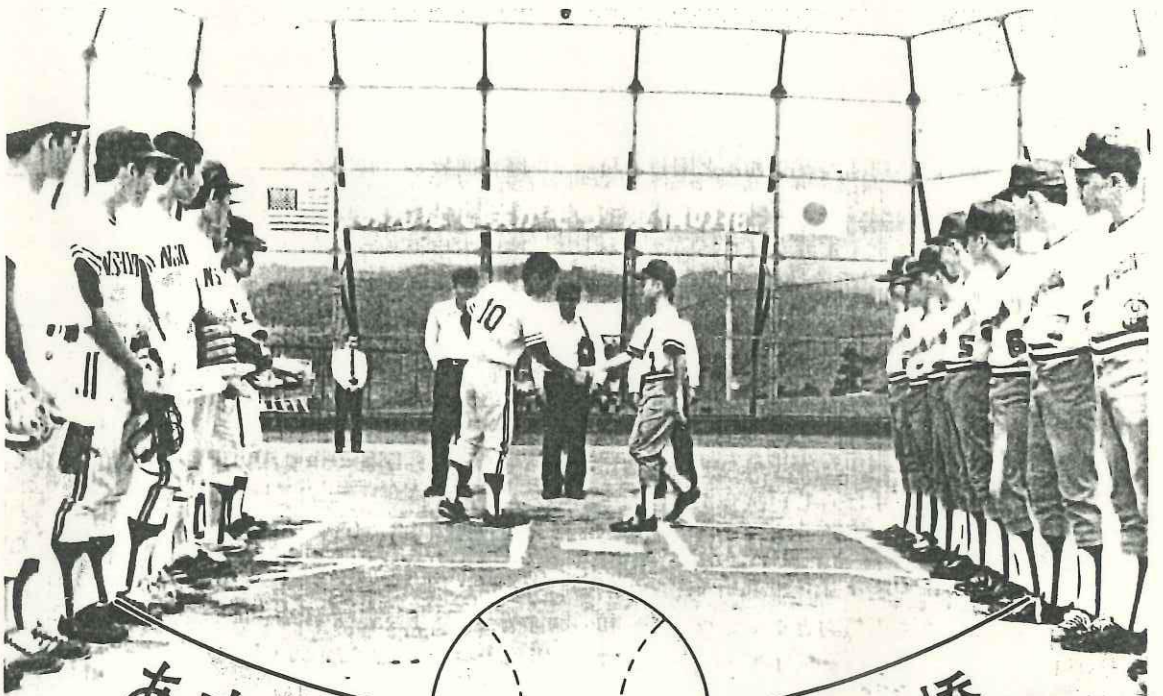
第 3 号

昭和57年11月10日発行

編集・発行

茨木市姉妹都市

協会



あすの交流へ大きな「かけ橋」
 「友情の花」を咲かせた「日米」少年野球

少年野球で友情の花を咲かせよう——姉妹都市ミネアポリス市の子どもたちとの「日米」親善野球試合が、今夏、本市で行われました。

ミ市チーム「ミネソタ・ゴールデン・ゴファーズ」(中学生20人)を含む訪問団一行41人は、去る8月1日本市入りし、重富市長、中内市議会議長を表敬訪問、4日目からの野球12試合を中心

に、弁天宗花火大会、キリシタン遺跡、工場などを見学するほか、市民プール、青少年野外活動センター、親善交流の夕べ、ホームステイなどで、多くの市民との交流を深め、同17日帰国しました。

5勝6敗1引分けと健闘した本市少年たちをはじめ、数知れない多くの市民の歓迎行事への参加は、あすの交流に大きな「かけ橋」を築きました。

深まった両市の友情の絆

友情と信頼の輪広めた
青少年たちの尊い汗

私たちの家、茨木市、に
戻れる日を待ちかねています



茨木市長
重 富 敏 之

姉妹都市ミネアポリス市から親善訪問団のみなさんを8月1日お迎えし、両市の親善交流が重ねられ、たいへん喜

んで帰国されましたことは、とりもなおさず大勢の市民のみなさんの参加と協力のたまものがあります。特に、訪問団のみなさんと明日を担う両市の青少年たちのために献身的なお世話をいただいたホームステイ家庭をはじめ、スポーツ・文化関係諸団体、ボランティアグループのみなさんの温かいご奉仕とご協力は、まさにピープル・トゥ・ピープルの実践であり、心から感謝し、お礼申し上げます。

白球を追って競う両市の少年たちは、水を得た魚のように軽快ですばらしい試合を展開してくれました。特に環境や生活の様子が変わりハンディを背負ってのミネソタ・ゴールデン・ゴファーズの少年たちの気力とチームワーク、規律正しく、少年らしい行動に大きな感銘を受けました。

両市の次代の担い手である夢と希望に輝くすばらしい若人が、尊い汗を流し、泥まみれになって友情と信頼の輪を広め、深めるこれらの営みは、誠に尊く意義深いものであると考えます。

私たちが互いに、世界に目を向け、他国を知ること、自国を知り、私たちの住む郷土を再発見することに通じるものであり、特に夢多い青少年たちへ託す、この虹のかけ橋が、両市の上に映え友情の絆(きずな)が強く結ばれ、発展することを願ってやみません。



訪問団長
ガーリィ・ダウニング

茨木市民のみなさん、私たちは、今回、すばらしい訪問の機会を持てましたことを、大きな喜びとしています。

私たちの代表である少年たち、両親、姉妹都市協会一同、市民のかたがたから心をかけ、家庭を開放し、時間をさいてくださるなど、私たちに寄せられた厚い好意に深く感謝しています。茨木市民のみなさんは、私たちの心のなかで燃える輝きを残してくれました。それはただの炎ではなく、将来の希望への輝きであります。その輝きは、いつも思い出されることでしょう。なぜならば、私たちは、子どもたちの目を通して偉大な二国間のより深い理解の手助けをしたからです。

私は、ずっと続いていく友情を新たにするために、1984年に子どもたちと一緒に、再び貴市に戻ることを望んでいます。そして、1983年には、ミネソタに最初の交流チームを派遣していただくことにより、ミネソタに榮譽を与えていただきたいと思います。私はただ、ミネソタの子どもたちのためにしてくださったのと同じように歓迎したいとだけ思っています。

ミネソタの子どもたちは、人生におけるすばらしい時間を持ちました。そして私たちは、誰も壊すことのできない友情を結びました。

「さようなら、は言わないで、また会う日まで、と申し上げます。

私は遠く離れた私たちの家、茨木市、に戻ることを待ちかねています。

▼市民プールで水しぶきをあげる子どもたち



▼自然の中での食事は一味違うでしょ



お気に入りのあっち向いてホイ



▲市長・議長を表敬訪問した親善訪問団一行



▲ミネソタ州の木を記念植樹



▲春日丘高校の甲子園初出場を観戦

▲熱気のコもった試合を展開



▲浴衣姿で夕食
ホームステイ西田宅



左からボランティアの
食事サービスと國井・
久保宅のホームステイ、
弁天さんの花火大会で



▲バーベキューパーティー
上田秀一副会長宅の山にて
◀初めて生け花をするミ市のお母さんら

親善交流に参加して



忘れられない ダウンング団長の言葉

森 美恵子

今回、訪問団滞在中、通訳としてゴールデン・ゴファーズのみなさんと交流を深めることができ、たいへん喜んでます。

また、「心に残る思い出や数々の写真が何よりのプレゼントです」と言われた団長の言葉は、いつまでも忘れることがないでしょう。

今後も、友情のかけ橋である姉妹都市交流が長く続くよう願うとともに、少しでもお手伝いできたらと思っています。



親善試合通し 心のふれあいが

石河 孝尚

僕は、ゴファーズのみなさんと真夏の太陽の下で楽しく親善野球をしたことや、星空の下でキャンプファイヤーをしたことなど、中学生時代の最大の思い出として生涯、忘れることはないと思います。

言葉は通じませんでした、野球を楽しむ人には理解できない心のふれあいを感じました。

また、何年か先にでも再会できることを祈っています。



▲盛りあがった親善交流の夕べ

◀初めてとは思えない、もちつきを全員で

写真左から花束を受け
るクレイマー氏とサイン
や食事を楽しむ子ども
たち

忘れ得ぬ友情を確認

友情が長く続き
もう一度試合を

クリス・アンダーソン

茨木市のみなさんと過ごした
思い出は、私たちの記憶の中に
一生残るものであり、たくさんの友達を得ることが
できて、たいへんうれしく思います。

茨木のチームは非常に強く、私たちが戦うのに
苦労しました。

また、機会があれば、もう一度試合をしてみたい
です。

この友情が長く続くことを願っています。



洗練された態度に
親のしつけを感じる

吉川 圭子

2泊3日のホームステイを
引き受け、少年たちの洗練さ
れた態度に、両親のしつけのよさが偲ばれ、私
の息子たちもこのような時、同じようにしてく
れるだろうかと考えさせられました。

また、わが家の子どもたちも「今度ホーム
ステイをするまでに英語を勉強しておきたい」と
それぞれの立場で考えるところがあったようです。

今回の経験は、何か実りある夏休みの思い出
になったようです。





茨・ミ青年会議所も姉妹調印 深まる両市の親善交流

本協会の会員である茨木青年会議所の若林理事長ら

両青年会議所の交流は、昨年11月のミネアポリス市公式親善訪問団が本市を訪れたのがきっかけで、同年12月には茨木青年会議所の理事であり、

役員5人が、ミネアポリス青年会議所との姉妹提携調印のため、今年6月16日から18日までミネアポリス市を訪問、17日に両青年会議所役員が確認書に署名し、永遠の契りを結びました。

ミネアポリス青年会議所は、創立45年の歴史を持ち、1958年には青年会議所世界大会を開催した伝統ある組織で、キャシー・ガイヤー理事長以下女性会員も多い。



フレイザー市長を表敬訪問した茨木青年会議所メンバー

国際関係委員会委員長の古山信直氏がミネアポリス市を訪問、両青年会議所間の姉妹提携について話し合い、今年に入ってその合意に達したものです。

今後は、相互の定期的な情報交換、人的交流等を通じて親善交流を深め、本協会の活動を側面から協力していただけることになりました。

姉妹都市提携事業の円滑な推進にと協賛金が、また、ミ市訪問団来茨に際し、ホームステイ、施設提供、行事協力ほか過分のご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

(50音順、敬称略)

〈協賛金〉(57.1.10以降) 茨木市地域婦人団体協議会▷十三信用金庫茨木支店▷(株)新光美術▷住友スリーエム(株)▷大和製罐(株)大阪工場▷日東電気工業(株)▷大和紙器(株)▷山武ハネウェル(株)大阪支店

〈寄付〉〔現金〕池田秀次郎▷住友スリーエム(株)▷中島治男▷樋口義明〔物品〕(株)浅草玩具▷市立中条公民館(和裁研究グループ)▷茨木フェスティバル協会▷茨木米穀小売商組合▷(株)大阪銀行茨木支店▷大阪第一食糧事業協同組合▷協同乳業(株)大阪事業所▷小池ミツエ▷阪倉特殊紙(株)▷(株)三和銀行茨木支店▷住友スリーエム(株)▷摂津信用金庫本店▷セブンアップ飲料(関西)(株)高槻営業所▷(株)大和銀行茨木支店▷高島酒造(株)▷中央信託銀行(株)梅田支店▷東洋信託銀行(株)茨木支店▷橋本食糧工業(株)▷花廣商店▷(株)久後商店▷ミスタードーナツ国鉄茨木ターミナル店▷三菱信託銀行(株)梅田支店▷(株)レナウン大阪商品センター

〈ホームステイ〉青井 章(見付山二丁目)▷伊澤順一(平田一丁目)▷宇野健一(紫明園)▷大西宏史(鮎川一丁目)▷奥田孝二(西福井三丁目)▷河邊昌夫(宇野辺二丁目)▷木津貞彦(高田町)▷北本 勲(室山一丁目)▷國井和郎(山手台六丁目)▷小林洋三(上野町)▷佐野 勲(平田一丁目)▷城谷 星(新郡山二丁目)▷杉山輝男(耳原二丁目)▷鈴木敏彦(駅前四丁目)▷山中利孝(南春日丘二丁目)▷田邊昌男(戸伏町)▷高杉匡俊(穂積台)▷立花之則(山手台六丁目)▷対馬祥全(東福

ご協力ありがとうございました



ミ市で深まった家族交流 文通きっかけにミ市へ旅行

水尾二丁目 中山 紀

私たち一家4人は、アメリカ旅行の途中8月27日から29日までの3日間、西海岸から足を伸ばし、娘のペンフレンドがいるミネアポリス市に住むゴードン一家を訪ねてきました。

ゴードン一家とは、去年10月からの文通を通し

急速に親しくなったことから一度訪ねたいと、計画し、この訪問となったものです。

ゴードン一家は、州の交通局の技師をする父のビル、出版関係の仕事をする母のタミー、ミネソタ大学で看護学を専攻する姉のローラと娘のペンフレンドである高校1年のドナの4人家族です。

訪れていた3日間は、家族の案内でガスリー劇場、ミネソタ大学、IDSビル、聖ポール寺院を見学したり、ゴードン家の裏庭でのバドミントンや長女ローラの誕生日と重なったことでバースディパーティーをしたり、一家の精一杯の歓待を受けました。

ミネアポリス市は静かで落ちついたたいへんすばらしい町です。平凡な茨木市民のひとりとして姉妹都市の平凡な一家と今後も長く付き合っていきたいと思っています。

井二丁目▷辻野良彦(安威三丁目)▷常峰 仁(大池二丁目)▷中島治男(山手台三丁目)▷中島 覚(南春日丘四丁目)▷中原靖介(山手台五丁目)▷長尾禎久(鮎川二丁目)▷長尾雅己(山手台六丁目)▷永山 隆(山手台五丁目)▷新澤詮彦(南安威二丁目)▷西田 裕(山手台三丁目)▷原 吾朗(耳原三丁目)▷橋爪 功(山手台六丁目)▷日向野 雄(山手台三丁目)▷樋口高彦(南春日丘二丁目)▷樋口義明(稲葉町)▷土方俊雄(宮元町)▷弘瀬隆志(山手台五丁目)▷古谷榮助(上野町)▷村本正義(北春日丘三丁目)▷森 廣 努(北春日丘二丁目)▷薬丸正勝(山手台五丁目)▷山崎政弘(沢良宜浜二丁目)▷吉川信治(玉瀬町)▷和田 博(北春日丘二丁目)▷若林三雄(春日一丁目)

〈施設提供〉上田秀一茨木商工会議所会頭▷(株)エキスポランド▷大阪市(大阪城)▷国立国際美術館▷国立民族学博物館▷真龍寺▷住友金属工業(株)含誠寮▷東京芝浦電気(株)大阪工場▷中谷 清(キリシタン遺跡)▷新屋神社▷西宮市(市民会館)▷日本国有鉄道茨木駅▷日本万国博覧会記念協会▷野村證券(株)▷阪急電鉄(株)▷阪急電鉄(株)茨木市駅▷(株)阪急百貨店▷東 藤嗣(キリシタン遺跡)▷弁天宗冥応寺▷松下電器産業(株)テレビ事業部▷三井銀行(株)

〈行事協力〉茨木警察署▷茨木市茶華道連盟▷茨木市消費者協会▷茨木市体育協会▷茨木市地域婦人団体協議会▷茨木浪華少年野球協会▷茨木フェスティバル協会▷上田秀一茨木商工会議所会頭▷仁愛会聖和病院▷東京芝浦電気(株)大阪工場▷(財)日本高等学校野球連盟▷乳幼児ボランティアグループ▷弁天宗冥応寺▷放送利用学習グループ「ふたば」

〈交流会出演〉石河孝尚▷茨木市合唱連盟(児童合唱団「ひまわり」)▷茨木日本民謡同好連盟▷土方俊雄▷府立春日丘高等学校音楽部

〈その他〉通訳58人

茨木市における 国際交流の足あと

— 第2号以降の経過 —

(1982)

- 57.1 「姉妹都市ニュース」第2号発行
- 2 ミ市・茨木市姉妹都市委員会委員長ロジャー・クレイマー氏、少年野球チームコーチ・ガーリィ・ダウニング氏が本市訪問（今夏、少年野球親善試合を行うについて打ち合わせ）
 - 3 ミ市からの留学生（同志社大学）のポール・オルソン、ロフ・ティズデル両氏が重富市長を表敬訪問。市教委主催「青年教養講座」にパネラーとして参加。
 - 5 協会定期総会開催（56年度事業・決算報告、会則改正、役員改選、57年度事業計画・予算の承認）
 - 5 姉妹都市活動室設置
 - 6 ミ市・茨木市姉妹都市委員会委員長ロジャー・クレイマー氏の代理、スチープン・R・スヒ氏およびシロー・カタギリ氏来茨。ミ市訪問団来茨の打ち合わせ。
 - 6 茨木J C役員（若林三雄理事長以下5人）ミ市訪問。ミ市J Cと姉妹提携を調印。
 - 6 協会会員中島 覚氏（南春日丘四丁目）ミ市訪問。
 - 6 姉妹都市活動室メンバーの指導で本市少年野球チーム選手に英会話の講習（7月まで延べ5回）
 - 8 ミ市少年野球チームと同家族・市民親善訪問団一行41人来茨（歓迎公式行事1日～10日・15日～17日）
 - 9 協会会員森本 隆氏（総持寺駅前町）ミ市訪問。
 - 9 協会理事・財務委員長樋口義明氏長男淳一氏（稲葉町）、ミ市長等表敬訪問。

会費の納入はお済みですか

9月30日現在、すでに309人（個人・法人・団体）のかたから会費の納入をいただいておりますが、一部未納のかたがあります。安定した事業資金、運営経費の確保のためにも、未納のかたは、速やかに納付をお願いします。

詳しくは、協会事務局（電話28121内線216）まで



親書たずさえて 市民外交に一役

樋口 淳一氏

9月13日、重富市長からの親書たずさえ、ドナルド・M・フレイザー・ミ市市長を表敬訪問。市長は、「来年、茨木市の少年野球チームが訪米されることを心待ちにしている」とのことでした。

訪れた27日間は、ホームステイで家庭の温かさを知り、地域をまわりながらいろいろな人と語り合い、これからは、私たち若者が、進んで海外へ出て日本の文化的評価を高めていきたいと感じました。



親切で大らかな 人柄にふれた旅

森本 隆氏

9月初旬、ミネアポリス市を訪れ、滞在した3日間、知人等の案内で市内のあちこちを見学。中でも、日本では考えられないほどビルとビルとの間にゆったりとしたスペースがとられた街並みにうらやましさを感じ、小・中学校を訪問した際、小学校の校長先生が朝登校する生徒一人ひとりと握手しているなごやかなふれあいに関心させられました。

今回の旅行は、親切で大らかな人柄にふれた、すばらしいものでした。

「姉妹都市活動室」を設置

希望者は気軽にご参加を

会員相互の日常活動、情報交換を行う場として、「姉妹都市活動室」をこの5月福祉文化会館内に設置しました。

例会は、毎月第3土曜日、午後2時から4時まで行っています。